

小中一貫教育推進^{グループ}Gだより

令和元年 6 月 13 日

目 次

- | | |
|---------------------|----|
| 1 小中一貫教育今年度の取組について | P1 |
| 2 小中一貫教育コーディネーターの紹介 | P2 |
| 3 小中一貫教育アドバイザーの紹介 | P2 |
| 4 特色ある取組の紹介 | P1 |

1 小中一貫教育今年度の取組について

平成 28 年度より全小中学校での本格実施となった小中一貫教育も、今年度は第 2 ステージの「3 年目」となりました。今年度はグループのよさや課題に対する取組の継続とともに、小中連携した授業改善を推進していきます。

小中一貫教育とは…

H31 年度 市長施政方針

市長による
重要な方針の柱

教育長マネジメント

教育長が最も重要とする政策

那覇市の子育て支援 4 つのプロジェクト

那覇市小中一貫教育のねらい

- ① 義務教育 9 年間で修了するのにふさわしい学力の育成
- ② 豊かな人間性や社会性の育成
- ③ 中学校入学時の不安の解消



H30 年度の成果と課題

成 果

- ① 小中一貫教育に対する肯定感の高まり
- ② 合同研究授業と授業研究会の全 G における実施
- ③ 良さや課題を生かした特色ある取組の広がり
- ④ グループの PDCA を生かしたコーディネーターによるマネジメント
- ⑤ 生徒指導・特別支援との連携

課 題

- ① **良さや課題を生かした**取組内容の継続
- ② **不登校や問題行動**等への小中連携した組織的対応
- ③ 保護者・地域等への小中一貫教育に関する**周知**
- ④ 教育課程に基づいた 9 年間の系統を意識した**授業改善**
- ⑤ 9 年間を通して児童生徒を育てるという**教職員の意識変容**

小中一貫教育の方向性

2017 年～2019 年
(平成 29 年～31 年)
第 2 ステージ

成長期

- グループの良さを生かす取組
- グループの課題に対応する取組
- 小中連携した教育課程をつなぐ取組
(授業改善・指導力向上)

平成 31 年度重点取組

- 小中連携した生徒指導の取組
(特別支援、教育相談含む)
- 小中一貫教育マネジメントへの取組
- 学習・生活規律等に関する共通実践

2020 年～2022
(令和 2 年～4 年)
第 3 ステージ

成熟期

2 小中一貫コーディネーターの紹介

校長・教頭・コーディネーターが連携を図り、各中学校グループの良さを生かせるよう、また小中一貫教育の取組が円滑に推進できるよう、よろしくお願いします。

小祿中 G	金 城 直 美	教諭 (国語)
鏡原中 G	安次嶺 和 子	教諭 (理科)
金城中 G	川 上 妙 子	教諭 (国語)
石田中 G	松 川 志 乃	教諭 (国語)
寄宮中 G	嘉 数 千 賀 子	教諭 (社会)
古蔵中 G	知 念 未 来	教諭 (国語)
仲井真中 G	新 里 美 和 子	教諭 (英語)
那覇中 G	砂 川 恭 子	教諭 (数学)
上山中 G	屋比久 りか子	教諭 (英語)
神原中 G	慶留間 明 子	教諭 (英語)
安岡中 G	平 良 直 哉	教諭 (英語)
真和志中 G	金 城 正 子	教諭 (英語)
松島中 G	許 田 重 晴	教諭 (数学)
松城中 G	仲 地 孝 子	教諭 (国語)
首里中 G	大 城 千 春	教諭 (英語)
城北中 G	新嘉喜 宗	教諭 (数学)
石嶺中 G	松茂良 裕 子	教諭 (社会)

3 小中一貫教育アドバイザーの紹介

池間 生子
アドバイザー

沖縄大学 人文学部
こども文化学科教授
元 那覇市立教育研究所所長
＜担当＞学習面等



大浦 武
アドバイザー

元 金城中学校長
(小中一貫教育
第1期導入校)
＜担当＞生徒指導面



小中一貫教育アドバイザー委任状交付式にて

ご講演も素晴らしいので、ぜひお呼びください！

4 特色ある取組の紹介

今年度も各グループで様々な取組が行われています。いくつかをご紹介します。



松城中 G

他グループへの乗り入れ授業
(大城邦夫教諭 in 首里中 G 城西小)
総合的な学習の時間: 平和教育

【城西小の先生より感想】

昨年も松城中の紹介にきてくださったが、小中の垣根がとれて中学校が身近になる。専門的な話が聞けるし、城西小から松城中に行く児童は少ないが、首里中も松城中も同じなんだと感じられる。自分の進む中学校に希望を持たせられる取組です。



神原中 G

「小中一貫教育パンフレット」
(慶留間明子教諭 作成)



上山中 G

「小中一貫教育
推進ノート」

グループの小中一貫の方向性、取組事項、各校の校務分掌や年間計画、また県教委の資料など、小中一貫に関わるすべての資料が1冊にまとめられています。研究授業の協議メモ・構想メモも40時間分綴じられているので、小中一貫研究授業と校内研究授業が一体化となり、また年度末に各教諭が自身の学びを振り返ることも可能です。